



平成23年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年6月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルチザネットワークス
コード番号 6778 URL <http://www.artiza.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 床次 隆志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 政人

四半期報告書提出予定日 平成23年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 042-529-3494

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年7月期第3四半期の連結業績(平成22年8月1日～平成23年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年7月期第3四半期 | 897 | — | △261 | — | △244 | — | △552 | — |
| 22年7月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年7月期第3四半期 | △6,866.86 | — |
| 22年7月期第3四半期 | — | — |

(注)平成23年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年7月期第3四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|-----------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 |
| 23年7月期第3四半期 | 3,749 | — | 3,379 | — | 90.1 | 42,014.53 |
| 22年7月期 | — | — | — | — | — | — |

(参考) 自己資本 23年7月期第3四半期 3,379百万円 22年7月期 1百万円

(注)平成23年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年7月期は記載しておりません。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年7月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 23年7月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 23年7月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年7月期の連結業績予想(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,400 | — | △417 | — | △400 | — | △713 | — | △8,865.18 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

(注)平成23年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期の増減率は記載しておりません。

4. その他（詳細は、添付資料3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年7月期3Q 95,620株 22年7月期 95,620株
② 期末自己株式数 23年7月期3Q 15,193株 22年7月期 15,193株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年7月期3Q 80,427株 22年7月期3Q 84,896株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成23年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年7月期第3四半期及び平成22年7月期の実績並びに増減率については記載していません。
2. 本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、3ページをご覧ください。
3. 通期の業績予想に関する事項につきましては、平成23年5月30日公表の「業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (5) セグメント情報 | 7 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |
| 4. その他 | 7 |
| 「参考資料」 | 7 |
| (1) (要約) 貸借対照表 | 8 |
| (2) 四半期損益計算書 | 9 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 10 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

移動体通信分野では、大手通信事業者による次世代携帯電話の世界共通方式となるLTE (Long Term Evolution) の商用サービスが開始され、2011年以降も主要な通信事業者が商用サービス開始に向けての開発投資を本格化しつつあります。しかしながら、スマートフォン等多様な携帯電話端末、コンテンツサービスの提供等による加入者獲得競争、WiMAX等の新技術によるサービスの展開により、通信事業者各社の競合状況は今後も一層の激化が予想されます。

また、固定通信分野におきましても光ファイバを中心としたブロードバンドサービスが進展し、IP化に伴うサービスの融合化が加速しております。

これらの新技術、新サービスの導入に伴い、積極的な研究開発投資が見込まれる一方で、サービスの低価格傾向は定着しており、通信各社の研究開発、設備投資は、選別的な姿勢が継続されるものと予想される中、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社では、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) LTEに対応する製品の開発及び販売
- (ii) LTEに対応する商材開拓及び販売
- (iii) 中国、韓国、欧州等の海外市場におけるLTE対応製品の市場開拓及び販売
- (iv) WiMAXに対応した商材開拓及び販売
- (v) 第3.5世代移動体通信向け製品のバージョン・アップ
- (vi) 次世代ネットワークに対応した製品の開発及び販売
- (vii) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークテスト) 820,108千円

当セグメント別の売上高は、820,108千円となりました。LTEに対応した製品の国内及び海外への販売及び3.5世代対応製品及びWiMAX対応製品についての販売を行いました。

(IPネットワークテスト) 77,801千円

当セグメント別の売上高は、77,801千円となりました。VoIP市場向けの製品、イーサネットサービス向けのフィールドテスト用途の「サービススタ」、NGNに対応するプロトコルテストの売上によるものです。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高897,910千円、営業損失261,918千円、経常損失244,285千円、繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額として306,187千円を計上したことにより四半期純損失552,281千円となりました。

なお、平成23年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期比の表示は記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,216,418千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,931,569千円、商品及び製品が517,412千円などによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は533,066千円となりました。主な内訳は、有形固定資産119,769千円などによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は359,665千円となりました。主な内訳は、買掛金261,443千円、賞与引当金38,534千円などによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,379,102千円となりました。主な内訳は、資本金1,359,350千円、資本剰余金1,500,547千円、利益剰余金1,061,519千円などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は営業活動による支出170,711千円、投資活動による支出35,151千円、財務活動による支出291千円により、資金残高は1,931,569千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

なお、平成23年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期の表示は記載しておりません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失244,373千円に対し、売上債権の減少額393,591千円、たな卸資産の増加額491,301千円があった結果、営業活動によって支出した資金は170,711千円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出21,529千円、無形固定資産の取得による支出11,972千円があった結果、投資活動によって支出した資金は35,151千円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額291千円があった結果、財務活動によって支出した資金は291千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年7月期の業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間における業績の進捗や今後の市場環境を勘案し、業績予想の見直しを行なった結果、通期の業績予想を修正しております。当該予想に関する詳細は、平成23年5月30日に公表いたしました「業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(注) 第1四半期連結会計期間において「阿基捷(上海)軟件開發有限公司」を平成22年9月15日に設立し、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。この適用による損益に与える影響は軽微であります。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は10,598千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
 (平成23年4月30日)

| | |
|---------------|-----------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 1,931,569 |
| 受取手形 | 2,286 |
| 売掛金 | 496,082 |
| 商品及び製品 | 517,412 |
| 仕掛品 | 21,666 |
| 原材料及び貯蔵品 | 215,959 |
| その他 | 31,441 |
| 流動資産合計 | 3,216,418 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | |
| 建物(純額) | 15,013 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 104,755 |
| 有形固定資産合計 | 119,769 |
| 無形固定資産 | 48,292 |
| 投資その他の資産 | 365,004 |
| 固定資産合計 | 533,066 |
| 資産合計 | 3,749,484 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 買掛金 | 261,443 |
| 賞与引当金 | 38,534 |
| その他 | 59,687 |
| 流動負債合計 | 359,665 |
| 固定負債 | |
| 資産除去債務 | 10,717 |
| 固定負債合計 | 10,717 |
| 負債合計 | 370,382 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 1,359,350 |
| 資本剰余金 | 1,500,547 |
| 利益剰余金 | 1,061,519 |
| 自己株式 | △515,124 |
| 株主資本合計 | 3,406,292 |
| 評価・換算差額等 | |
| その他有価証券評価差額金 | △27,772 |
| 為替換算調整勘定 | 582 |
| 評価・換算差額等合計 | △27,190 |
| 純資産合計 | 3,379,102 |
| 負債純資産合計 | 3,749,484 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日) |
|--------------------|---|
| 売上高 | 897,910 |
| 売上原価 | 589,222 |
| 売上総利益 | 308,688 |
| 販売費及び一般管理費 | 570,607 |
| 営業損失(△) | △261,918 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息及び配当金 | 19,747 |
| その他 | 1,671 |
| 営業外収益合計 | 21,419 |
| 営業外費用 | |
| 為替差損 | 3,785 |
| 営業外費用合計 | 3,785 |
| 経常損失(△) | △244,285 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 88 |
| 特別損失合計 | 88 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △244,373 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,720 |
| 法人税等調整額 | 306,187 |
| 法人税等合計 | 307,907 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △552,281 |
| 四半期純損失(△) | △552,281 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成22年8月1日
至 平成23年4月30日)

| | |
|---------------------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △244,373 |
| 減価償却費 | 70,128 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 17,946 |
| 受取利息及び受取配当金 | △19,747 |
| 固定資産除却損 | 88 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 393,591 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △491,301 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 150,789 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △12,922 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | △24,904 |
| その他 | △26,483 |
| 小計 | △187,190 |
| 利息及び配当金の受取額 | 19,641 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △3,162 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △170,711 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △21,529 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △11,972 |
| その他 | △1,649 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △35,151 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 配当金の支払額 | △291 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △291 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 770 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △205,383 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,136,952 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,931,569 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、移動体通信分野における「モバイルネットワークテスト」とIPネットワーク分野における「IPネットワークテスト」において、主に「プロトコル・シミュレータ」と呼ばれる通信計測機等の開発・販売を行っております。したがって、当社グループは、事業を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「モバイルネットワークテスト」及び「IPネットワークテスト」の2つを報告セグメントとしております。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年8月1日至平成23年4月30日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|-----------------------|---------------------|----------|
| | モバイル ネットワーク テスト | IP ネットワーク テスト | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 820,108 | 77,801 | 897,910 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 820,108 | 77,801 | 897,910 |
| セグメント利益又は損失(△) | △270,362 | 8,443 | △261,918 |

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. その他

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

平成23年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期に係る四半期連結財務諸表は作成していませんが、参考までに（要約）貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を掲載しております。

(参考) 四半期財務諸表
(1) (要約) 貸借対照表

(単位：千円)

| | | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年7月31日) |
|---------------|--|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | | 1,336,952 |
| 売掛金 | | 891,960 |
| 有価証券 | | 800,000 |
| 商品及び製品 | | 211,884 |
| 仕掛品 | | 14,629 |
| 原材料及び貯蔵品 | | 61,727 |
| その他 | | 53,563 |
| 流動資産合計 | | 3,370,719 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | | 6,477 |
| 工具、器具及び備品(純額) | | 113,709 |
| 有形固定資産合計 | | 120,187 |
| 無形固定資産 | | 60,336 |
| 投資その他の資産 | | 579,063 |
| 固定資産合計 | | 759,586 |
| 資産合計 | | 4,130,305 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | | 110,654 |
| 賞与引当金 | | 20,588 |
| その他 | | 111,856 |
| 流動負債合計 | | 243,099 |
| 負債合計 | | 243,099 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | 1,359,350 |
| 資本剰余金 | | 1,500,547 |
| 利益剰余金 | | 1,613,800 |
| 自己株式 | | △515,124 |
| 株主資本合計 | | 3,958,573 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | △71,367 |
| 評価・換算差額等合計 | | △71,367 |
| 純資産合計 | | 3,887,205 |
| 負債純資産合計 | | 4,130,305 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 1,571,229 |
| 売上原価 | 1,116,661 |
| 売上総利益 | 454,567 |
| 販売費及び一般管理費 | 498,868 |
| 営業損失(△) | △44,300 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息及び配当金 | 29,999 |
| その他 | 6,503 |
| 営業外収益合計 | 36,503 |
| 営業外費用 | |
| 為替差損 | 2,115 |
| 支払手数料 | 460 |
| その他 | 6 |
| 営業外費用合計 | 2,582 |
| 経常損失(△) | △10,379 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 14 |
| 特別利益合計 | 14 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 9 |
| 特別損失合計 | 9 |
| 税引前四半期純損失(△) | △10,375 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,750 |
| 法人税等合計 | 1,750 |
| 四半期純損失(△) | △12,125 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年4月30日) |
|-------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純損失(△) | △10,375 |
| 減価償却費 | 67,045 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 25,135 |
| 受取利息及び受取配当金 | △29,999 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △14 |
| 固定資産除却損 | 9 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △987,852 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △82,383 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 35,977 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 13,186 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 52,635 |
| その他 | 2,300 |
| 小計 | △914,336 |
| 利息及び配当金の受取額 | 30,165 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | 30,441 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △853,730 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △9,353 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △7,068 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △300,000 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 300,000 |
| その他 | 6,232 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △10,188 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 自己株式の取得による支出 | △272,448 |
| 配当金の支払額 | △44,272 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △316,720 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,180,639 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,239,730 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,059,090 |